

## 令和3年度事業報告

(自令和3年4月1日から至令和4年3月31日)

### 【概要】

実施事業（継続事業）の進捗として「ひらく・ナビ事業」の「ひらく・ナビ20」「ひらく・ナビ50」はIT情報産業の変革及び健康寿命等に関するサイト更新を行った。

調査事業は、これまで行っていた大学生の就職活動調査を見合わせた。

出版は「就活<親心>の出し方」の購買依頼があり在庫より納本を行い在庫分について完売した。

その他の事業（収益事業）は、じぶん計画ダイジェスト版事業で予定されていた、「自分で動く就職」2022年版を12月に発行し1,500部の発注予定で動いたが、予定学校がコロナによる影響もあり、配布が見送りになり650部程度の販売に留まっている。

また、書籍以外の事業売上は、スタート4年目の人材紹介が550万円、独自の総合人材ビジネス部門で期の途中から受注（人事制度構築、人材採用業務委託）し月額100万円となった。また、更新講習事業は377万円と前年度を上回り、着実に進捗している。

### 【実施事業（継続事業）】

#### 継続1

I. ひらく・ナビ事業 目的（若年層及びベテラン（50代）層に対する情報発信）

##### 1. 各サイトの改修・管理

・「ひらくナビ20」はコラム要旨が健康寿命等に関するコラムと若年者の過眠症についてのコラムを茨城県立こころの医療センター名誉院長 土井永史先生にお願いしている。

・「ひらく・ナビ50」はコラムタイトル「日常に潜む情報通信技術の畏-同じで意味が違う」の連載を開始した。著者はIT業界の先駆けの土井美和子先生で 国立研究開発法人情報通信研究機構 監事(非常勤) 東北大学 理事（非常勤）の方になる。

具体的作業は次の通り

- ・ サイト各項目のリンクチェック
- ・ 有効求人倍率の最新情報の更新
- ・ 制度改革等、公的・社会情勢（コロナ禍）情報の発信

#### 継続2（出版）

#### II じぶん計画事業

目的（20歳からの自分計画の一環とした事業を行う）

##### 1. 「就活<親心>の出し方」の改訂版の販売

2校<駒沢女子大学（630部）>の納品。

駒沢女子大学に対しては、本年も受注しており、本年分、来年分も含めて発注予定。

### 継続3（調査）

#### Ⅲ. 調査・研究事業 目的（労働市場に関する情報提供）

大学生の就職活動に関する調査はおこなわなかった。

#### 【その他事業（収益事業）】

##### 1. じぶん計画ダイジェスト版事業

「自分で動く就職」の改訂版として「自分で動く就職 2023 年版」を発行した。印刷部数は 1,500 部  
購入校 一覧

学習院女子大学の納品は未定。東放学園グループは販売中止の状況である。

##### 2. 人材紹介

事業開始から4年目の人材紹介は、マイナビ求人エンジン、リクルートダイレクト、DODA、DO  
DAIXを使用し、年度内の成約は6名となった。その他 Automagi より人材スカウトの業務委託  
の依頼を受け、月額コンサルタント料として60万、人事制度改革としてとして40万円が月額収入  
となっている。

##### 3. 独自資格認定事業

独自認定事業については、講師病気休養の為、休止。今後に向けて新人財を補完して再活動に向けて  
動いている。

##### 4. 厚生労働省キャリアコンサルタント更新講習の追加申請

キャリアコンサルタント更新講習の申請を本年度1講座追加申請する予定

現状の7講習については1講習がすべてリモート、4講習がリモートと通学講習併用の運用を行っ  
た。また、残り2講習は講習の内容上、対面での講習が必要なため、通学形式のままで行う。尚、2  
講習については年間開催数の増加、HRCC の再就職支援関連講習は定員の増加。認知行動療法の講  
習は定員の減員と定価の減額を行った。定員増加に伴い増員となったまた定価の減額による顕著な  
効果は見られなかった。